

## 環境改善目標2 敷地内緑化 について

(公財)京都市都市緑化協会 佐藤正吾

- 緑の多様な機能について
- 緑化の4つの取組み方
- 植栽について重視したい点、注意点

生物多様性にもつながる敷地内の緑化の取組みです。  
具体的には、屋上緑化、壁面緑化、地上緑化、雨庭緑化の取組み方があります。

# ■緑の多様な機能について

## 京都市緑の基本計画(2010-2025)

目標の1つ 緑被率

(空から見た、緑・水で覆われた土地の割合)

◆市域全体 83%(2010)から向上させる。

◆このうち 市街地 35%(2010)

→36%(2015)

→37%(2025)

また、量とともに、緑の「質」も求められる。

生物多様性の確保、その他多様な機能

# 都市における緑には、様々な機能があります。

## <緑の機能>

| 緑の機能別区分                      | 機能の内容                                                                                                                                                       | 効 果                                                                                                                                              |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都市環境の維持・改善，生物の<br>生息・生育環境の保全 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CO<sub>2</sub> の吸収</li> <li>・ 温度や湿度の緩和作用</li> <li>・ 汚染物質の吸着除去</li> <li>・ 木陰の提供</li> <li>・ 生物の生息・生育空間の確保</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球温暖化の防止</li> <li>・ ヒートアイランド現象の緩和</li> <li>・ 大気の浄化</li> <li>・ 夏場の気温の低減効果</li> <li>・ 生物多様性の保全</li> </ul> |
| 健康づくり・レクリエーショ<br>ン・精神的な充足    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 散歩やジョギングの場所の提供</li> <li>・ 子ども達や高齢者に遊びや<br/>くつろぎ空間の提供</li> <li>・ 潤いのある緑の提供</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康の増進</li> <li>・ コミュニティの形成・多世代<br/>交流の促進</li> <li>・ ストレスや疲れの癒し</li> </ul>                               |
| 都市の防災                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑地としての空間の提供</li> <li>・ 樹木による防火力の向上</li> <li>・ 雨水浸透面の確保</li> </ul>                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難地や避難経路の確保</li> <li>・ 火災時の延焼の防止</li> <li>・ 都市型洪水の緩和</li> </ul>                                         |
| 都市景観の向上                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市景観の構成</li> <li>・ 街路樹，ビル・町家の緑による<br/>風景の統一</li> </ul>                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山並みの景観の維持</li> <li>・ 町並みの景観の向上</li> <li>・ 都市における季節感の提供</li> </ul>                                       |

京都市緑の基本計画（2010）より

# ■緑化の4つの取組み方について

## KESエコロジカルネットワーク 敷地内の緑化活動(4種類)

### 2.1 緑化の種類

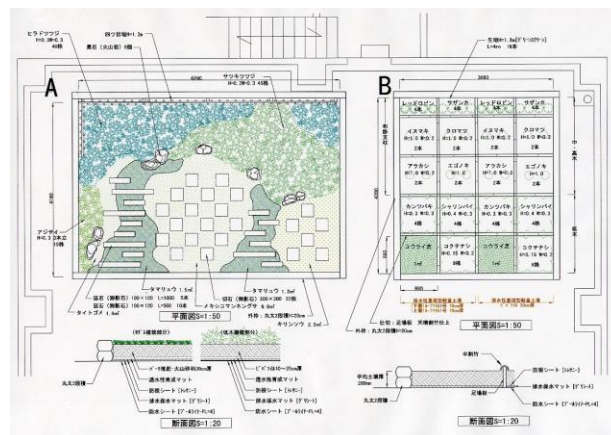
- (1) 屋上緑化 ……建築物の屋上
- (2) 壁面緑化 ……建築物の壁面
- (3) 地上緑化 ……樹木・草本の植栽(地面)、生け垣、  
駐車区画の緑化 等
- (4) 雨庭機能に重点を置く緑化

## 2.1 緑化の種類

# (1) 屋上緑化

※屋上緑化は、建築物の屋根では通常利用されない雨水を利活用する施設として、(4) 雨庭機能に重点を置く緑化(雨水を一時貯留又は利用する雨庭)と見なすことも可能

(事例)



旧緑化協会事務所屋上 2004-2011年  
京都市屋上緑化技術研究会の実験施設

施設の施工図面(モザイク実験  
区画(右)と庭園風区画(左))



中京区役所屋上庭園



八百一本館「六角農場」

## 2.1 緑化の種類 (2) 壁面緑化

### (事例)



### ・方法1 「登はん・下垂型」

つる性植物をカーテン状に仕立てて日除けにする緑のカーテン

夏場、窓を覆えば涼しく感じられ、冷房の電気代が削減できる。

$$\text{体感温度}(\text{℃}) \div (\text{室温} + \text{MRT}) / 2$$

※MRTは平均輻射温度



## 2.1 緑化の種類

### (2) 壁面緑化 (事例)

#### ・方法2 「壁面基盤型」

ポット苗等を壁面に設置した基盤に植える。  
各ポットへの灌水が必要。(雨水を利用するタイプもあります。)



ヨドバシカメラ(高さ7m ×  
幅160m、総面積1,120m<sup>2</sup>)

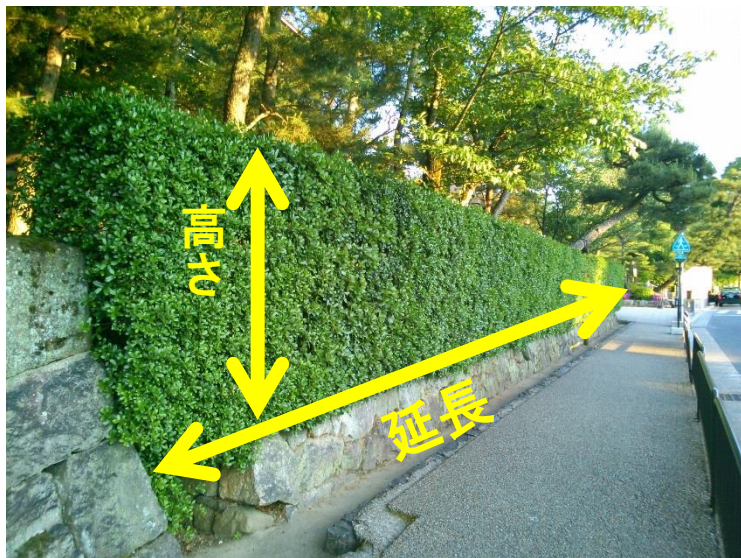
京のみどり59号(2011年7月発行)より



建物壁面から独立した基盤  
を使うタイプ

## 2.1 緑化の種類 (3) 地上緑化

### ②生垣



水平の延長(m)×高さ(m)を  
緑化面積とみなす

- ・延長1m以上
- ・高さ0.3m以上1.5m未満

保護材の面積も緑化面積  
に算入可(2/3未満まで) →

### ①樹木・草本の植栽



樹木や草花が地面を覆う面積  
を緑化面積とする

### ③駐車区画

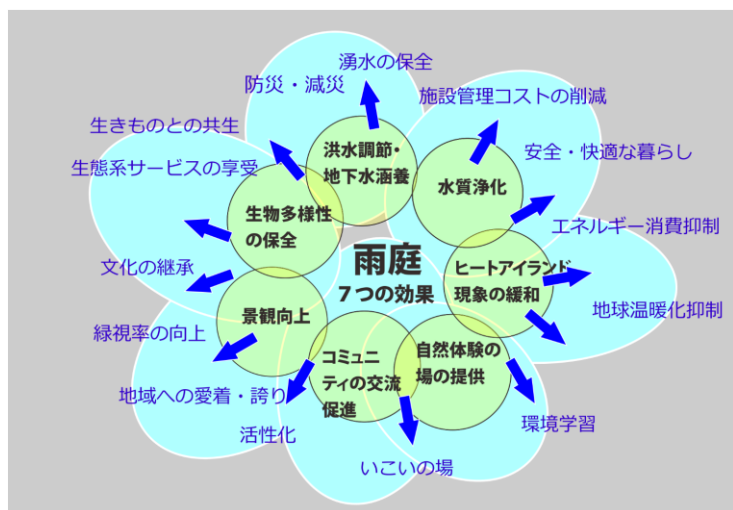


## 2.1 緑化の種類

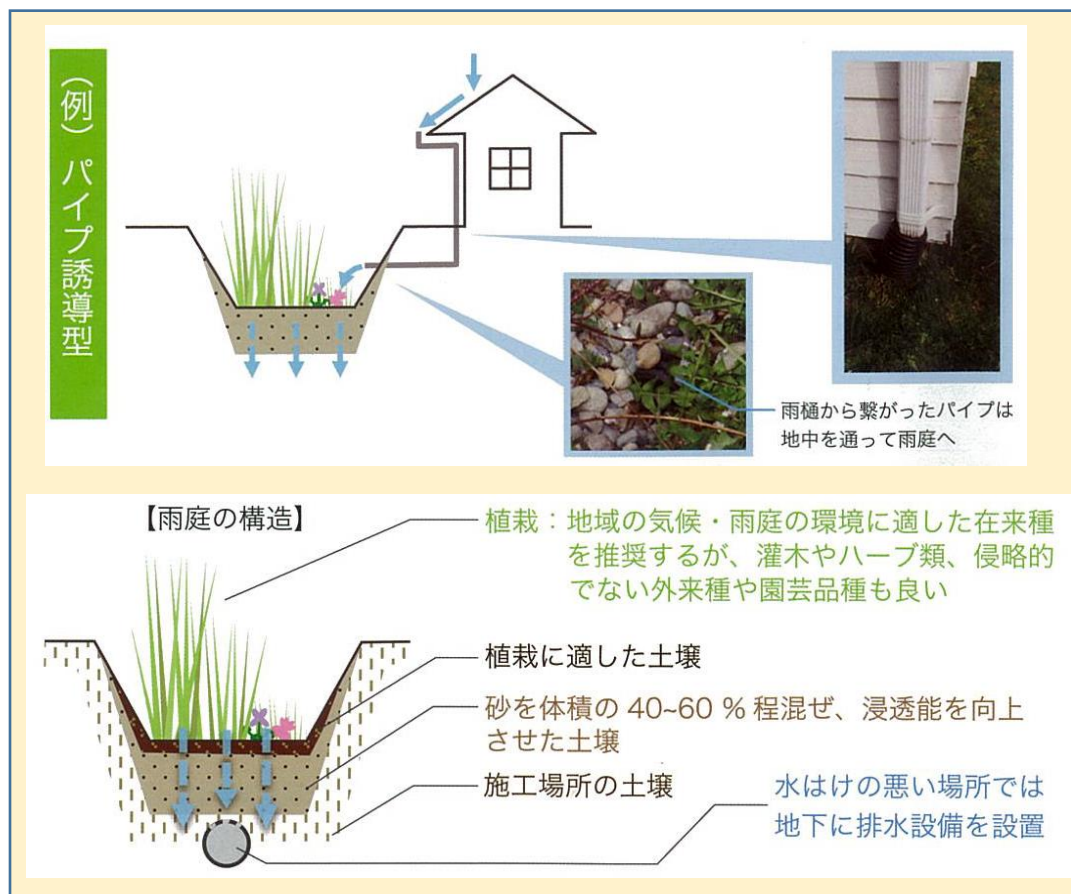
### (4)雨庭

雨水利用を積極的に行う植栽空間(庭)のことで、**グリーンインフラ**の重要な要素。洪水緩和のほか、水質浄化、生物多様性の保全、ヒートアイランド現象の緩和等の多様な効果が期待できる。

### 機能と構造 「集水」「貯水」「浸透」



雨庭の多様な効果: 京都雨庭研究会  
「京のみどり79号」(2016年7月)より



『雨庭のすすめ 改訂版』より

## (4)雨庭

(事例)

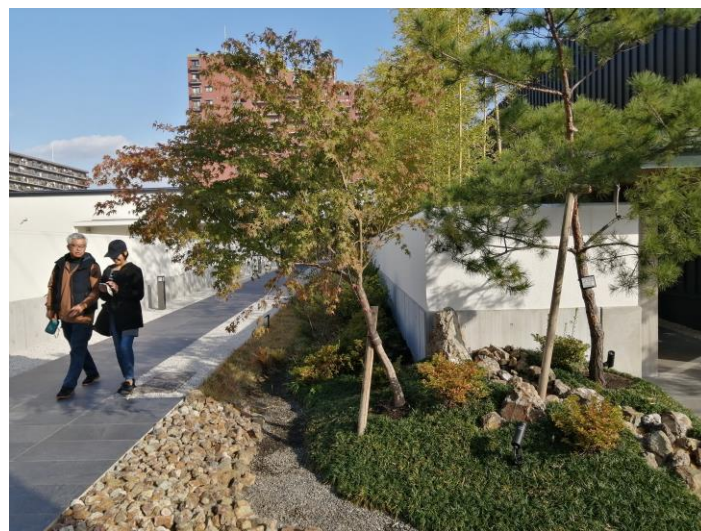
### ①地面の「雨庭」

- ・水面も緑化面積に含む。
- ・地形の変化や建物屋根利用で集水
- ・窪地を設け雨水を一時的に溜め、  
徐々に浸透させる

### ②地面以外の「雨庭」

- ・容器(プランター)による。

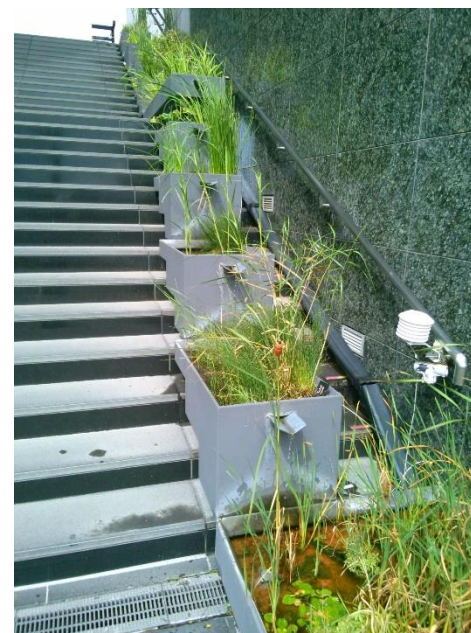
※面積の基準は設けないが、雨庭部分の  
「蓄雨高」100mmは最低確保する。



日新電機研修センター(2019年3月～)  
雨水を一時貯留し循環・浸透



植樹枠の地下の空隙貯留による貯留施設  
(東京での見本市)



京都駅ビル「緑水歩廊」

## (事例) 京都市 道路沿線の雨庭の整備

日本庭園の枯山水など京都が誇る造園技術を生かし、道路・歩道に降った雨水の一時貯留と地下浸透を図る。

2017年度に整備がスタート。2018年4月に四条堀川交差点に京都市雨庭第1号がオープン。その後、2024年度末(2025年3月)までに計16地点に増加。



四条堀川交差点



地域団体・企業の方々(街路樹サポーター)による手入れが行われている。



東山二条交差点



京阪淀駅西口

# ■植栽について重視したい点、注意点

## 2.2 共通基準

- ①「緑化面積」は、3㎡以上とする。  
(ただし、地面以外の「雨庭」は、面積基準は規定しない。)
- ② 樹木その他、草本(1年草を含む)を可とする。
- ③ 植物は、3月1日提供資料「推奨在来種リスト」の**在来種を最低1種以上含むこと。**
- ④ 植物は、外来生物法の規制を受ける「**特定外来生物**」のほか、**「生態系等の被害のおそれがある外来種」**を含まないこと。
- ⑤ 3カ年計画で達成(完成)も可とする。

## ■植栽について重視したい点、注意点

※3月1日提供資料「5\_【別紙2-1】生物多様性に配慮した在来種リストの考え方」を参照。

### ◇生物多様性に配慮した緑化の基本的な考え方

(a) いくつかの植物種を採り入れ、高木・低木・草本といった階層性を  
持たせること ——植物の多様性、生育環境の多様性

(b) できるだけ、地形(アンジュレーション)、水辺空間を設けること  
——生育環境の多様性

(c) 在来種、特に同じ地域の植物を積極的に使うこと(推奨リスト参照。供給もスタート)。

新規の植栽に、「生態系等に悪影響を及ぼす可能性がある外来種」を使わないこと。

※3月1日提供資料「7\_【別紙3】生態系被害防止外来種リスト」を参照。

希少植物について、同じ植物種の自生地が近くにある場合には、遠方の自  
生地に由来する個体を植えることを避けましょう。(遺伝学的な地域固有性  
を大事にするため。) ——国外外来種／国内外来種概念

(d) 植物と関係する生活文化の関係も紹介すること

——京都市生物多様性プランが重視する歴史文化との関係を啓発